SICORP ドイツ「神経科学」事後評価
課題評価委員会における主な指摘事項

研究開発課題名： 霊長類不安コネクトームの数理・生理解析
研究開発代表者名： 雨森 賢一（京都大学）

本課題は、不安コネクトームの同定や不安と意思決定に関わる領野間相互作用の解析において、不安障害の生物学的基盤解明に貢献しており、特に、線条体を含む行動の柔軟性の欠如に関するモデル構築は、精神疾患のメカニズム研究や治療法開発の発展が期待できると高く評価された。

また、ドイツ側が事情により早期に研究を中止したため共著論文は発表されていないものの、ドイツ側は研究中止までに担当する数理モデルの確立は終了しており、日本側はその成果を用いて国内の研究者と共同研究を進め、実験データに応用できたため、計画に即して良好な成果が得られたと評価された。